



平成 26 年 12 月 26 日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社
代表者名 代表執行役社長 重田 衛
(コード番号 5103 東証第二部)
問合せ先 執行役財務総務担当 庄司 友彦
(TEL. 04-7131-0181)

第三者割当により発行される株式の募集に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 12 月 26 日付取締役会において、以下のとおり、第三者割当により発行される株式の募集を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 募集の概要

(1)	払込期日	平成 27 年 1 月 13 日 (火)
(2)	発行新株式数	普通株式 2,292,100 株
(3)	発行価格	1 株につき金 64 円
(4)	調達資金の額	146,694,400 円 上記金額は全額現物出資の払込方法によるものとします。
(5)	募集又は割当方法 (割当先)	第三者割当 (明日香野ホールディングス株式会社 1,273,400 株) (A.P.F.ホールディングス株式会社 1,018,700 株)
(6)	その他	上記各号については、金融商品取引法に基づく効力発生を条件とします。

2. 募集の目的及び理由

当社は、平成 24 年 6 月に、それ以前の過去と決別をし、新たな成長と始まりという位置づけで、中期経営計画「アクセルプラン 2012」を策定し、既存事業を極限まで磨きあげ、永続的な成長を目指す経営方針を採ってまいりました。

収益の柱であるファイナンス事業では、タイ王国におけるオートバイファイナンスを皮切りに、カンボジア王国へ進出し、同国において新たに農機具のファイナンスビジネスも開始いたしました。現在ではラオスでの事業展開の準備を進めており、急速に ASEAN 事業展開を行っております。

一方、現在日本国内においてアニメ・ゲーム・電子書籍などの製作・請負を取り扱っているコンテンツ事業につきましては、平成 25 年 10 月にタイ王国に子会社 WAKUDOKI を設立し、日本のアニメ・ゲーム・電子出版などのコンテンツの多言語化と、それらを取り扱う企業が ASEAN で事業展開を行う際のサポート事業の企業化の準備を進めております。これらのビジネスは、株式会社ウェッジホールディングス (コード 2388 東証ジャスダック市場上場会社) 及びその子会

社でおこなっており、当社は同社を平成 23 年 5 月に連結子会社化し、平成 26 年 9 月 30 日現在で同社の 50.12%の株式を保有しております。

ファイナンス事業、コンテンツ事業の両事業ともに、今後も大きく飛躍する可能性を有しており、両事業を持つ株式会社ウェッジホールディングスを連結子会社として保有し続け、また、合理的な範囲で株式持株比率を向上させることで、同社の収益をより多く当社の連結決算に取り込むことは当社の経営戦略の根幹となっております。

昨今、当社の保有する株式会社ウェッジホールディングス株式の発行済み株式総数に対するシェアは、過年度に同社の役職員に付与されていた新株予約権の行使により、当社が株式会社ウェッジホールディングスの株式を取得した平成 23 年 5 月 30 日の 50.55%から 50.12%へ徐々に減少傾向にあります。

ウェッジホールディングスの残存する新株予約権がすべて行使されると当社の持株比率が 50%を下回る可能性もあり、且つ、今後も株式会社ウェッジホールディングスにおいてストックオプションが付与される可能性があることも勘案し中長期的にウェッジホールディングの連結子会社化を維持するために、過半数以上の株式保有比率を維持することを継続的に検討しております。

また、昨今のウェッジホールディングスの連結子会社が ASEAN 地域で行うファイナンス事業につきましては大きく飛躍しており、その収益面や資産性から考えてもウェッジホールディングスの株式は優良でありますので追加取得を行いたいと考えておりました。

そのような状況で、ウェッジホールディングス株式の追加取得を行うことを直近のウェッジホールディングス株式の流動性から考えますと、ウェッジホールディングスの普通株式の数%を当社が市場から取得することは容易ではないと考えられましたので、ウェッジホールディングスの既存大株主からウェッジホールディングスの株式の売却意向の確認も行うべきであろうと考えました。

そこで当社の大株主である明日香野ホールディングス株式会社、及び、A.P.F.ホールディングス株式会社が、株式会社ウェッジホールディングスの株主でもありましたので、両社に対し株式会社ウェッジホールディングス株式を譲渡していただけるよう打診を行うことといたしました。

一方、ウェッジホールディングス株式の取得に掛かる対価の調達方法につきましては、現在当社の保有する現預金をグループ内の既存事業の成長に充当することを優先したいため、外部調達を行うことが好ましいと考えており、子会社株式の追加取得という資金が固定化される資金用途には、借入等の負債性資金調達を行うよりも、更なる財務体質の強化を目的として増資による資金調達を行うことが、当社にとって最も企業価値向上の機会が獲得できる形であると判断しておりました。加えて、今回の調達金額の規模が 1 億 4 千万円強と、公募増資や株主割当を行うには調達規模が小さいことを考慮し、第三者割当増資での調達を行うべきとの結論に至りました。

そこで、当社の大株主でもあり、ウェッジホールディングスの普通株式を多く保有する明日香野ホールディングス株式会社、及び、A.P.F.ホールディングス株式会社に対して、同社等が保有するウェッジホールディングス株式の売却意向の確認と同時に、当社の行う第三者割当増資の引き受け要請を行うことといたしました。

その結果、この度、明日香野ホールディングスと A.P.F.ホールディングスの両社から、弊社の提案に対し、快く同意をいただき、ウェッジホールディングス株式の譲渡と、当社の第三者割当増資の引き受けを同時に行うこととなりますので、事務コスト等も勘案し、ウェッジホールディングス株式の現物出資による第三者割当増資を実施する運びとなりました。

なお、この度取得することとなるウェッジホールディングスの普通株式 900,000 株につきましては、当社持分がウェッジホールディングスの発行済み株式の過半数以上を継続保有するという方針に沿って、割当先との交渉により決定したものです。ただし、ウェッジホールディングス株式の市場における流動性を勘案し、当社の持分が過半数を下回らない範囲内で一部売却を行う可能性もございます。

3. 調達する資金の額、用途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額

発行総額 146,694,400 円は、当社の普通株式の前日終値 64 円に今回の増資により発行する株式数 2,292,100 株（発行済株式総数に対する比率は 4.88%）を乗じた金額となります。当該発行総額は、ウェッジホールディングスの普通株式の前日終値 163 円に今回の払い込み対価である同社株式 900,000 株を乗じた額 146,700,000 円に合わせ、不足のないよう調整したものです。

また、調達する資金につきましては、割当先の保有する株式会社ウェッジホールディングスの普通株式 900,000 株が現物出資されるものです。

従いまして新たな資金が調達される形態ではなく、子会社株式の追加取得を行うもので、優良な子会社の当社持株比率が高まる効果があります。

(2) 調達する資金の具体的な用途

	具体的な用途	金額（円）	支出予定時期
	連結子会社である株式会社ウェッジホールディングスの株式の追加取得	146,694,400 円	平成 27 年 1 月

* 支予定時期は、株式会社ウェッジホールディングス株式が当社名義へ証券保管口座への振り替え完了予定時期を記載しております。

4. 資金用途の合理性に関する考え方

当社は、エクイティーファイナンスによる資金調達につきましては、当社の財務基盤の安定のみならず、調達した資金の用途から得られるメリットが、当社の企業価値の向上に寄与することが重要だと考えております。

この度の資金調達につきましては、現物出資であることから、資金用途は、連結子会社であるウェッジホールディングス株式の追加取得であることが明確になっており、そのメリットは、

1. ウェッジホールディングス株式の保有比率を維持向上することにより、同社を継続して連結子会社化し続けることができること。
2. グループ内の稼ぎ頭である企業の保有比率を高めることにより、当社の連結決算上の当期純利益を増やすことができること。
3. ウェッジホールディングスのファイナンス事業は、特に ASEAN 地域において急速に成長しており、2.に記載した収益面のみならず、その株式自体の資産価値も期待できること。

の3点に集約されます。

1につきましては、上記「2. 募集の目的及び理由」に記載いたしましたとおり、当社グループの収益の柱であり、成長余力の著しく高いファイナンス事業とコンテンツ事業を営むウェ

ッジホールディングスの当社の株式保有比率が、同社の役職員による新株予約権の行使（平成26年9月30日時点の新株予約権の未行使残高は206,000株。発行済み株式の0.76%）など発行済み株式の増加に伴い当社の株式保有比率が減少することにより、万が一でもウェッジホールディングスが当社の連結子会社から外れるリスクを防止することであります。

2につきましては、株式の追加取得により当社のウェッジホールディングス株式の保有比率は3.30%向上することから、外部流出していた少数株主利益が減少し、当社連結当期純利益が増加することとなり、今後、ファイナンス事業とコンテンツ事業の拡張に伴い当該株式保有比率の向上は、ますます大きな効果を生むこととなります。

3につきましては、主にタイ王国で展開していたオートバイのファイナンス事業において、昨今「カンボジア王国への進出」、「農機具リースへの事業拡大」、「タイ王国における同業他社の買収」等積極的に事業の拡張を行っており、今後もラオスを始めASEAN全域への事業展開を計画・予定しております。こういった活動は、当社グループに与える収益のみならず、その株式の資産性も期待できると考えております。

また、この度取得することになるウェッジホールディングス株式数は、ウェッジホールディングス発行済み株式の3.30%となりますが、こちらは割当先との交渉により、ウェッジホールディングスの残存する未行使新株予約権数やこれから付与される可能性がある新株予約権数を勘案し、当面は当社がウェッジホールディングスの過半数の持株比率を維持できると考えたものです。

最後に、今回の第三者割当を行うことについての取締役会の判断につきましては、取締役会の社外取締役4名、及び、当該社外取締役のうち3名から構成される監査委員会から、当該第三者割当増資にかかる議論の経緯を厳格にモニタリングしていただき、関連当事者となっている取締役の決議への不参加（詳細につきましては5.（3）をご参照下さい。）や、決定手続きが適正に行われていることを監視していただき、適宜必要な意見をいただきながら議論を進めました。

その結果、本第三者割当増資の相当性につきましては、前述のとおり、子会社株式の追加取得による当社グループの収益の維持拡大及び優良な資産の取得が目的であり、当社株主の利益を損ねることはなく、中長期的にみても、企業価値の向上に資するものであることから本第三者割当増資は必要不可欠なものであると判断しております。

5. 発行条件等の合理性

(1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容について

発行価格につきましては、当社取締役会決議日前営業日の取引終値を基準とし、1株64円（ディスカウント率0.0%）といたしました。

発行価格は、本増資に係る取締役会決議の直前日までの6ヶ月間、3ヶ月間、1ヶ月間（平成26年6月26日から平成26年12月25日まで）の株式会社東京証券取引所第2部市場における当社普通株式の取引終値の平均値（6ヶ月間平均66円（ディスカウント率3.03%）、3ヶ月間平均68円（ディスカウント率5.88%）、1ヶ月間平均66円（ディスカウント率3.03%）及び、当社取締役会決議日前営業日の取引終値の比較によるものです。

当社取締役会決議日前営業日の取引終値を発行価格とする理由といたしましては、長期の終値平均との比較に加え、平成26年11月14日に発表した平成26年9月期第2四半期決算短信発表及び平成27年3月期の業績予想の修正を公表した後の直近の株価のほうが、より現時点における当社経営状況が株価にも反映しているものと判断し、当社取締役会決議日前営業日の取引終値64円を発行価格とすることを決定いたしました。

また、払込金額が割当予定先に特に有利でないことに係る適法性に関する監査委員会の意見等は以下の通りです。

「払込金額の検討は、東京証券取引所における取引終値を基準に検討・決定を行い、大幅なディスカウントも行われていないことから有利発行には当たらず、数字の根拠、検討の経緯、利害関係者が当該決議に加わらないように配慮すること等、決定手続きはすべて適法適正に行われており、その判断も妥当であると考えております。」

(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本新株式の発行により増加する新株式数の平成 26 年 9 月 30 日現在の当社発行済み株式総数に対する割合は 4.88%（議決権に対する割合は 4.93%）となり、希薄化が生じることとなります。この希薄化に対しましては、当社は以下のように考えております。

「当社は平成 24 年 3 月期第一四半期末より、株式会社ウェッジホールディングスの子会社化し、それ以後の当社連結決算において、ウェッジホールディングスの業績を取り込めることとなりました。その結果として平成 23 年 8 月には継続企業の前提に関する事項の注記の記載が解消されることとなりました。

特に、株式会社ウェッジホールディングスの子会社 Group Lease PCL の行うファイナンス事業は、タイ国内でも確固たる地位を築いており、当社連結子会社化後も、ARFC ビジョン（詳細につきましては、次の URL をご確認ください。http://www.wedge-hd.com/cms_v2/assets/files/IR/NEWS/2012/i201203292.pdf）を策定し、タイ国内における営業地域の拡大、カンボジア王国への進出、農機具リースの開始、ラオスにおけるファイナンス事業開設準備など、当社連結子会社化後も東南アジア全域への事業展開を着実に進めております。

また、同様に株式会社ウェッジホールディングスが行うコンテンツ事業につきましても、同社の行っていた物販事業の譲渡、紙媒体での出版事業の縮小などを進め、経営資源を成長力が見込まれる分野に集中することで、日本国内でコンテンツビジネスのワンストップサービスを提供できるユニークな企業としての地位を確立し、海外展開の準備を着実に進めております。

当社の平成 26 年 3 月期連結会計年度におけるセグメント別の営業利益は、ファイナンス事業のセグメント利益は 816 百万円となり、コンテンツ事業のセグメント利益は 136 百万円でありました。両事業のセグメント利益は合わせて約 952 百万円となり、平成 26 年 3 月期の当社連結決算の報告セグメント利益計（1,081 百万円）の約 88%を占めております。

現時点において、当社はウェッジホールディングスの株式を 50.12%保有して連結子会社としておりますが、前述の通り役職員による新株予約権の行使に伴い、当社の保有比率は減少傾向にありますので、仮に当社のウェッジホールディングス株式の保有比率が 50%を割り込み、連結子会社から外れることを平成 26 年 3 月期に当てはめて考えますと、セグメント利益の約 88% 952 百万円を失うこととなり、加えて、ファイナンス事業、コンテンツ事業の今後の成長力を勘案しますと、それを大幅に超える収益獲得機会を失うこととなります。

このようなリスクを回避するために、2,292,100 株の普通株式（当社発行済株式数の 4.88%）の新規株式を発行することはきわめて合理的あり、今後の東南アジア全域での事業拡大することを勘案しますと、すべての既存の株主の皆様の利益に資するものと確信しております。」

(3) 利益相反を回避するための措置

本第三者割当の発行決議につきましては、利益相反取引を回避する為に、取締役 9 名の内、割当予定先の代表取締役にあたる此下益司氏、及び当社代表執行役最高経営者であり此下益司氏の実弟である此下竜矢氏の 2 名を除く 7 名で、決議を行いました。なお、此下竜矢氏につきましては、直接利害関係者にはあたらないものの慎重を期して当該決議を棄権しております。その決議の進行につきましては、当社社外取締役からなる監査委員会で監視をおこなっております。

6. 割当予定先の選定理由等

(1) 割当先の概要

明日香野ホールディングス株式会社

(1)	名称	明日香野ホールディングス株式会社		
(2)	所在地	大阪府八尾市老原 7 丁目 85 番地 1		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 此下 益司		
(4)	事業内容	事業会社の株式を取得・所有することにより、当該会社の事業活動を支配・管理する事業		
(5)	資本金	250,000,000 円		
(6)	設立年月日	平成 19 年 4 月 16 日		
(7)	発行済株式数	5000 株		
(8)	決算期	12 月末日		
(9)	従業員数	1 名		
(10)	主要取引先	—		
(11)	主要取引銀行	三菱東京 UFJ 銀行		
(12)	大株主及び持株比率	A.P.F.Group.Co.,Ltd 100%		
(13)	当事会社間の関係			
	資本関係	当社の株式を 39.14%所有しております。		
	人的関係	当社の役員（此下 益司氏）1 名が、当該会社の役員を兼務しております。		
	取引関係	当社から当該会社に対し経営指導料の支払（平成 26 年 3 月度実績 11,428 千円）		
	関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の「その他関係会社」であり、関連当事者に該当いたします。		
(14)	最近 3 年間の経営成績及び財政状況			
	決算期	23 年 12 月期	24 年 12 月期	25 年 12 月期
	純資産	259	▲89	▲175
	総資産	2,753	2,223	1,717
	1 株当たり純資産 (円)	51,821.93	▲17,960.86	▲35,086.20
	売上高	43	11	11
	営業利益	37	8	9
	経常利益	▲14	▲348	▲84
	当期純利益	▲14	▲348	▲85
	1 株当たり当期純利益 (円)	▲2,887.55	▲69,782.80	▲17,125.33
	1 株当たり配当金 (円)	—	—	—

(単位:百万円。特記しているものを除く)

A. P. F. ホールディングス株式会社

(1)	名称	A. P. F. ホールディングス株式会社		
(2)	所在地	大阪府松原市天美南4丁目7番25号		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 此下 益司		
(4)	事業内容	持株会社		
(5)	資本金	3,000,000 円		
(6)	設立年月日	平成 19 年 4 月 19 日		
(7)	発行済株式数	60 株		
(8)	決算期	12 月末日		
(9)	従業員数	1 名		
(10)	主要取引先	—		
(11)	主要取引銀行	三菱東京 UFJ 銀行		
(12)	大株主及び持株比率	A.P.F.Group.Co.,Ltd 100%		
(13)	当事会社間の関係			
	資本関係	当社の株式を 10.64%所有しております。		
	人的関係	当社の役員 1 名（此下 益司氏）が、当該会社の役員を兼務しております。		
	取引関係	記載すべき取引はございません。		
	関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の「その他関係会社」であり、関連当事者に該当いたします。		
(14)	最近 3 年間の経営成績及び財政状況			
	決算期	23 年 12 月期	24 年 12 月期	25 年 12 月期
	純資産	▲442	▲228	▲195
	総資産	3,223	3,068	3,112
	1 株当たり純資産 (円)	▲7,370,895	▲3,813,856	▲3,250,912
	売上高	136	126	126
	営業利益	24	57	72
	経常利益	▲73	213	33
	当期純利益	▲73	213	33
	1 株当たり当期純利益 (円)	▲1,226,807	3,557,038	562,944
	1 株当たり配当金 (円)	—	—	—

(単位:百万円。特記しているものを除く)

なお、今回の株式引き受け契約締結交渉に先立ち、上記の割当予定先両社の代表者及び事務担当者並びに事業所にそれぞれ訪問し、実地確認と聞き取り調査を行っております。

当該実地調査に加え、インターネットなどの事前調査、及び、これまで割当予定先両社が当社の株主になってから、数年間の間に継続して株式を保有していること、又、割当予定先両社と当社とが交渉する際の両社の対応や要望など総合的に調査した結果、割当予定先及び当該割当先の役員又は主要株主が、暴力団、暴力団員又はこれらに準ずるもの（以下「暴力団等」という。）である事実、暴力団等が割当先の経営に関与している事実など暴力団等と交流を持っている事実は、当社の把握する限りありませんでした。また、割当予定先両社は、将来も暴力団等と関与しない方針である旨の確認を行っております。

なお、当社は本日の決議に先立ち、平成 26 年 12 月 25 日に、反社確認書を東京証券取引所に提出いたしました。

(2) 割当先を選定した理由

当社は、今回の第三者割当による新株発行の割当予定先としては、明日香野ホールディングス株式会社と、A.P.F.ホールディングス株式会社の2社を予定しております。

明日香野ホールディングス株式会社は、平成20年6月から当社の筆頭株主（当社発行済み株式の39.14%を保有）として、また、A.P.F.ホールディングス株式会社は、平成21年6月から当社の第2位の株主（当社発行済み株式の10.64%を保有）として、両社とも今日まで変わらず当社の主要株主であります。

両社からは、当社の株主になって以降、当社が主に日本国内で、ゴム事業とソフトテニス関連事業という極めて限定された事業を行っていた状況から、海外進出を含めその事業領域拡大の方針にご理解とご支援をいただいております。現在の当社グループは、ファイナンス事業、スポーツ事業、コンテンツ事業、食品事業、ゴム事業と5つの事業の柱を持ち、平成24年6月に公表いたしましたアクセルプラン2012に従い、タイ、シンガポール、マレーシア、カンボジア、中国と着実にアジア展開を進めております。

アクセルプラン2012に沿って、今後も国内外、特にアジア全域にグループ事業の展開を目指す方針の当社にとって、これまでの明日香野ホールディングス株式会社とA.P.F.ホールディングス株式会社の支援は非常に有益であり、今後も引き続き安定株主としてさまざまな面で当社をご支援いただきたく、新株式の引き受けの打診を行うことといたしました。

また、本増資は、現物出資による第三者割当増資の形式となります。

これは、本増資の目的は、そもそも連結子会社ウェッジホールディングス株式の追加取得であったことや、明日香野ホールディングス株式会社とA.P.F.ホールディングス株式会社が、ウェッジホールディングス株式を保有していることから、現金で資金調達を行った後に株式取得を行うよりも、コスト面で有利であり、株式の売買の手続きを行うことなく確実に当該株式の取得ができることから、ウェッジホールディングス株式を払込対価とする現物出資による第三者割当増資の打診を行うことといたしました。

主に上記の理由により当社は割当予定先の選定を行いました。

(3) 割当予定先の保有方針

当社は、割当予定先の保有方針確認の為、当社の代表者と、割当予定先の代表者と面談を実施し口頭及び書面により長期保有の方針であることを確認いたしました。

なお、当社は、割当予定先から、割当予定先が払込期日から2年以内に本件第三者割当により発行される当社普通株式の全部又は一部を譲渡した場合には、その内容を当社に対し書面により報告すること、当社が当該報告内容を株式会社東京証券取引所に報告すること、並びに当該報告内容が公衆の縦覧に供されることに同意することにつき、確約書を取得する予定です。

(4) 割当先の払込みに要する財産の所在について確認した内容

金銭以外の財産の現物出資による払込の申込方法によるため、現物出資の目的となるウェッジホールディングス株式会社について、本日まで明日香野ホールディングス株式会社及びA.P.F.ホールディングス株式会社から、ウェッジホールディングス株式会社にかかる大量保有報告書または変更保有報告書の提出がないことに加え、割当予定先の代表者及び事務担当者を訪問し、現地調査、聞き取りを行うことで払い込みに要する財産の所在確認を行っております。

7. 募集後の大株主及び持株比率

募集前（平成26年9月30日現在）		募集後	
明日香野ホールディングス株式会社	31.94%	明日香野ホールディングス株式会社	33.04%
A.P.F.ホールディングス株式会社	10.64%	A.P.F.ホールディングス株式会社	12.22%
CREDIT SUISSE AG	2.12%	CREDIT SUISSE AG	2.03%
立花証券株式会社	1.58%	立花証券株式会社	1.50%
日本証券金融株式会社	1.16%	日本証券金融株式会社	1.10%
小松 秀輝	1.10%	小松 秀輝	1.05%
小川 隆弘	0.58%	小川 隆弘	0.55%
西岡 等	0.53%	西岡 等	0.50%
黒田 信雄	0.48%	黒田 信雄	0.46%
此下 竜矢	0.44%	此下 竜矢	0.42%

(注) 上記割合は、平成26年9月30日現在の株主名簿を基にした数値となります。

8. 今後の見通し

当社グループの平成27年3月期の連結業績予想に与える影響につきましては、本増資によるウェッジホールディングス株式保有比率の増加により、当期純損益の取り込み割合が増加する見込みで、現在精査をしております。

業績予想に影響を与える事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

9. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本第三者割当は、①希薄化率が25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、東京証券取引所の定める上場規程第432条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要するものではありません。

10. 最近3年間の業績及びエクイティファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績（連結）

	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期
連結売上高	5,956,939 千円	7,405,635 千円	8,703,648 千円
連結営業利益	366,803 千円	758,592 千円	413,455 千円
連結経常利益	1,945,905 千円	928,812 千円	482,056 千円
連結当期純利益	2,037,122 千円	101,436 千円	▲43,363 千円
1株当たり当期連結純利益	43.79 円	2.18 円	▲0.03 円
1株当たり配当金	-	-	-
1株当たり連結純資産	114.74 円	123.77 円	123.40 円

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況（平成26年9月30日現在）

種類	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式総数	46,958,026 株	100.0%
現時点の転換価額（行使価額）における潜在株式数の総数	2,318,000 株	4.9%

(3) 最近の株価の状況

①最近3年間の状況

(単位：円)

	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期
始 値	25	81	76
高 値	111	90	114
安 値	22	48	63
終 値	79	72	66

②最近6ヶ月間の状況

(単位：円)

	平成26年 6月	平成26年 7月	平成26年 8月	平成26年 9月	平成26年 10月	平成26年 11月
始 値	61	62	65	64	78	69
高 値	63	68	67	98	78	73
安 値	61	61	61	62	62	63
終 値	62	66	64	77	67	67

③発行決議日前営業日における株価

	平成26年12月25日
始 値	66円
高 値	66円
安 値	63円
終 値	64円

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

該当事項はありません。

1.1. 発行概要

(1) 発行新株式数	2,292,100株
(2) 発行価額	1株につき64円
(3) 発行価額の総額	146,694,400円 上記金額は全額現物出資の払込方法によるものとします。
(4) 資本組入れ額の総額	73,347,200円
(5) 募集又は割当方法	第三者割当 明日香野ホールディングス 1,273,400株 A.P.F.ホールディングス 1,018,700株
(6) 申込期間	平成27年1月13日(火)
(7) 払込期日	平成27年1月13日(火)
(8) 前期各号については、	金融商品取引法による届出の効力発生を条件とします。

以上